

## わくわくワーク&さがみローカル SDGS フェスタに参加しました！！

私達『ワーカーズ・コレクティブわか』は神奈川ワーカーズ連合会に所属しており、生活クラブ生協や、神奈川ネットワーク運動などと連携して自分達の暮らす街をより住みやすい地域にしていこうと励んでいます。

昨年からはまった『わくわくワーク&さがみローカル SDGS フェスタ』は地域の中でのたすけあいや居場所づくり、働く場づくり、平和や地球にやさしい環境作りを目的にしたおまつりです。今年度はより身近なエリアでおまつりを開催していく方向になりました。

わかには相模原市内全域が活動拠点となっている為、相模原北部中心となった10月8日(日)開催の『橋本公園』と相模原市南部と座間市で共同開催した10月22日(日)開催の『相武台1丁目公園』の2か所に参加し、地域の中で高齢になっても、障害があっても自由に移動出来るよう移動支援家事介護支援を行っている事と同時に働くメンバー募集をしていることをアピールしてきました。

また、わかならではのアピールを考えたときに何か出来ないかと検討し、車いすの体験コーナーを設け希望者へ、押さえておきたい豆知識をレクチャーしました。

骨折や介護するようになってからではなく、一度このような車いす体験をすることで押す側の気持ちや、乗っている方の気持ちを汲み取ることが出来たという感想をいただきました。

公園の環境が整っているため、スロープもなだらかでゴツゴツした道ではありませんでしたが中には、この車いす体験ができるという事を知り大学生の方がお母様と一緒におまつりに参加してくださいました。お友達の何か手伝いが出来ないかと考えたとき少しでもこういう機会に触れてみたいとなったそうです。

車いすの開き方、必ずブレーキをかけてから乗り降りすること、急に動かすのではなく「これから進みますよ」といったような言葉かけ、坂道は上りで前向き、下りは後ろ向きで下がるといった基本動作を体験してもらいました。

公園の許可などが下りるようだったら、福祉車を持ち込み車いすに乗ったまま車に乗るといった体験ができるとよかったねと座間市で移動支援をしている『ワーカーズ・コレクティブたすけっと』さんの仲間と話になりました。

体験してもらう中で気づいたことと共に、今回デイサービスや、家事介護に関わるワーカーズの仲間達と現場の中での車いす体験の共育が行なえたことは大きな成果でした。



周りに障害物  
(人)がないかも  
ちゃんと確認

10/1 橋本公園にて





車いすの開き方・閉じ方レクチャー中



お母さん乗り心地はどう？

10月22日(日)開催 相武台1丁目公園にて



異業種交流盛り上がり中  
地域にはこれだけの仲間がいます。  
いろいろなたすけあいがあります！！



みなさ〜んいっしょに働きませんかあ  
あなたにあった職種や働き方見つかるかも！！